<mark>科目名</mark> 動物繁殖学						
担当教員	1	佐藤 緑	実務	8授業の有無	()
対象学科	斗	動物看護師・リハビリ・トリマー学科	対象学年	2	開講時期	後期
必修・遺	選択	必修	単位数	2	時間数	32
授業概要 授業の過	要、目的、 進め方	繁殖は動物が存続する上で欠かる 個体(生命)が誕生する神秘的に動及び発情・交尾・妊娠・分娩の 分娩の過程を学ぶ。さらに正常に 対面授業で実施。	な営みである。本和 の過程を学ぶ。の此	斗目では主にイヌや #雄の生殖器の構造	ネコの雌雄の生殖器 と機能、性行動及び	の構造と機能、性征 ・発情・交尾・妊娠
学習目標 (到達目		イヌやネコの雌雄の生殖器の構	造と機能、性行動及	及び発情・交尾・妊	娠・分娩を理解する	ことができる。
	ト・教材・参・その他資料	エデュワードプレス 基礎動物	勿看護学			
回数		授業項目、内容		学習	方法・準備学習	・備考
1	雌の生殖器の構造	と機能		動物種による違い	(イヌ・ネコ・ウシ	・ウマ・ブタ・ウサ
		能・生理を理解する		ギ・げっ歯目・サル	ル・ヒトなど)を学	.\$i
2	雄の生殖器の構造				(イヌ・ネコ・ウシ	
_	生殖器の構造・機	能・生理を理解する		ギ・げっ歯目・サル	レ・ヒトなど)を学	.;``
3	生殖活動に関連す	るホルモン		動物種による違い(イヌ・ネコ・ウシ・ウマ・ブタ・ウサギ・げっ歯目・サル・ヒトなど)を学ぶ		
4	4 各ホルモンのフィードバック機構について学ぶ		動物種による違い	(イヌ・ネコ・ウシ	・ウマ・ブタ・ウサ	
	5 性成熟と生殖周期について学ぶ			レ・ヒトなど)を学 、新生児の管理を理		
5				ドバイスに役立て	る	
6	雌イヌの発情周期	、排卵と交配について学ぶ		産褥期の母体看護、 ドバイスに役立て・	、新生児の管理を理 る	解し、飼い主へのア
7	雌イヌの繁殖(妊	振、分娩、出産の看護、性ホルモ	∈ン濃度の推移、	交配上の注意、遺伝	伝学の概論、遺伝性	疾患についても理解
	助産および帝王切	開、新生子の管理)		を深める		
8		娠、分娩、出産の看護、性ホル ヨ	∃ン濃度の推移、	交配上の注意、遺伝学の概論、遺伝性疾患についても理解		
		開、新生子の管理) 情周期、排卵と交配、性ホルモン	(連座の世段 △	を深める 交配上の注意、遺伝学の概論、遺伝性疾患についても理解		
9		汗がこ文配、圧ホルモン 王切開、新生子の管理)	/ 辰反の推移、万	を深める	ムチの帆柵、風山圧	大忠に ノいても垤産
		工の開、新工」の音程/ 情周期、排卵と交配、性ホルモン	ノ濃度の推移、分		伝学の概論、遺伝性	疾患についても理解
1()		王切開、新生子の管理)		を深める		
11	雄イヌの繁殖、イ 避妊)	ヌネコの繁殖の人的支配(人工技	受精、誘起発情、	イヌネコのブリー	ディング	
12		ヌネコの繁殖の人的支配(人工指	受精、誘起発情、	イヌネコのブリー	ディング	
13	遺伝学の基礎と遺	伝性疾患		繁殖を通じて遺伝	学の基礎と遺伝性疾	患を学ぶ。
14	遺伝学の基礎と遺	伝性疾患		繁殖を通じて遺伝	学の基礎と遺伝性疾	患を学ぶ。
15	総まとめ			授業のまとめ		
16	期末試験			今まで学んだ繁殖	学のポイントを振り	返り理解を深める
	評·	価方法・成績評価基準			履修上の注意	
	基準は、S(95点以 下)とする。	(上)・A(80点以上)・B(70点以上)	·C(60点以上)·	時間ごとに小テストを	を実施し、履修後の確認	忍をおこなう 。
実務経	験教員の経歴	動物看	護師として6年	弱、動物病院に	勤務していた	

科目名	3 牛皮		動物病理	理学			
担当教	<mark>員</mark>	秋元 彩子	実	務授業の有無		0	
対象学	<u></u> 科	動物看護師・リハビリ・トリマー学科	対象学年	2	開講時期	後期	
<mark>必修・</mark>	選択	必修	単位数	2	時間数	32	
授業概	要、目的、 進め方	様々な疾病が組織や臓器にもたら 対面授業で実施)す変化を学び、	病態について理解す	3		
学習目		疾病の成り立ちと回復の促進に客	引与することを学	i,			
テキス	スト・教材・参						
考図書	書・その他資料						
回数		授業項目、内容			方法・準備学習	・備考	
1	動物病理学総論	 	TH 67	テキスト			
2	病理解剖と病理組 細胞や組織に生じ	織学的検査の目的、意義について る変化	生胜	パワーポイント資 テキスト	<u> </u>		
	変性と物質沈着/細胞や組織に生じ	壊死とアポトーシス		パワーポイント資 テキスト	料		
3		る変化 ズム、器質化、再生と化生		アヤスト パワーポイント資:	料		
4	細胞や組織に生じ	る変化		テキスト			
	過形成と肥大/委 循環障害	縮、低形成		パワーポイント資 テキスト	料		
5	充血とうっ血/出	血の原因		パワーポイント資	料		
6	循環障害 血栓の成因/虚血	と梗塞		テキスト パワーポイント資	料		
7	循環障害			テキスト			
	水腫、浮腫/ショ 炎症	ックの原因と分類/DICの病態		パワーポイント資 テキスト	料		
8	定義と五大徴候/	分類と原因、特徴		パワーポイント資料			
9	炎症 関与する細胞と化り	学伝達物質/経過と治癒		テキスト パワーポイント資料			
10	腫瘍			テキスト			
	定義と分類/原因 腫瘍	と発生機序		パワーポイント資料 テキスト			
11	宿主の関係/転移	と進行		パワーポイント資料			
12	先天異常 遺伝子・染色体異	堂		テキスト パワーポイント資	*打		
13	先天異常	TIP.		テキスト			
	発生異常と奇形			パワーポイント資 テキスト	料		
14	組織標本の作製法			アヤスト パワーポイント資料			
15	期末試験						
16	期末試験の振り返	<i>i</i>)					
	評価方法・成績評価基準				履修上の注意		
成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・ D(59点以下)とする。							
実務経	実務経験教員の経歴						

2023年度 国際ペットワールド専門学校 シラバス							
科目名			動物薬理学	学 I			
担当教				務授業の有無		0	
対象学		動物看護師・リハビリ・トリマー学科	対象学年	2	開講時期	後期	
必修・	選択	必修	単位数	2	時間数	32	
+四 3 	亚 口的	薬は獣医師の処方により調剤する は、カルテに記載された内容をI					
授業概 授業の	要、目的、	種による体重の違いも大きく、生	上理的代謝の特異性	性による投与禁忌などがあるので確認が必要となるので、薬			
汉来の	<u> </u>	物の取扱いと保存方法を習得し、 対面授業で実施。	正確な薬用量計算	軍ができなければなら	うない。		
学習目	<u></u> 標	71曲1久未で大肥。					
薬理学総論を通して、薬には基本的性質があり効能と副作用の両方を有することを理解できる。 (到達目標)					きる。		
テキス	ト・教材・参	エデュワードプレス 基礎動物	*******				
考図書	・その他資料	エチェケートクレス 参続動や	7有 设于				
回数	総論 薬理学とは	授業項目、内容		学習	方法・準備学習	習・備考	
1	総論 条理子とは 薬と類する物の分	類		医薬品と医薬部外品	品の違いについて		
2	薬理学の基本と医	薬品の定義について学ぶ		薬事法関連			
3	薬物の剤形につい 内服薬、注射薬、			看護実習の復習を表	兼ねる		
4	薬物の剤形につい	τ		看護実習の復習を剝	兼ねる		
5	内服薬、注射薬、 薬物の投与方法に			看護実習の復習を表			
6	静脈内投与 薬物の投与方法に	ついて					
	静脈内投与 薬物の投与方法に	ついて		看護実習の復習を表			
7	経口投与、その他	の投与方法		看護実習の復習を表	兼ねる		
8	薬物の投与方法に 経口投与、その他			看護実習の復習を表			
9	薬物動態 体内の薬物の動き	、効果発現までの流れについて		体内での薬剤の崩壊 事の影響、分布に		小腸からの吸収、食	
10	薬物動態			体内での薬剤の崩壊	裏、胃からの排出、	小腸からの吸収、食	
11	薬物動態	、効果発現までの流れについて				いて知り、効果的な投	
12	体内に入った薬剤 薬物動態	の代謝について		薬について学ぶ 肝臓の働きを復習し	しながら代謝につい	いて知り、効果的な投	
	体内に入った薬剤の代謝について 効果に影響を与える因子について		薬について学ぶ	ト 川 薬物の効里がる	変化したり、副作用が		
13	頻度、年齢、性別			でることを知る。			
14	効果に影響を与える因子について - 頻度、年齢、性別		さまざまな要因に。	より薬物の効果が多	で化したり、副作用が		
15	前期期末試験			薬物動態の総まとめ	d		
16	フィードバック、	問題応用		試験後も繰り返し問題を解き、習得させる			
17	おもな薬剤の特性 自律神経作用薬			獣医療の場で使用る	される薬剤の各論		
18	おもな薬剤の特性自律神経作用薬			獣医療の場で使用される薬剤の各論			
19	おもな薬剤の特性			獣医療の場で使用される薬剤の各論			
20	抗菌薬 おもな薬剤の特性			獣医療の場で使用さ	される薬剤の各論		
21	抗菌薬 おもな薬剤の特性			端匠佐の根で使用。	+ h 7 # 10 n / 5A		
21	合成ステロイド おもな薬剤の特性			獣医療の場で使用る			
22	合成ステロイド			獣医療の場で使用る	される薬剤の各論		
23	おもな薬剤の特性 非ステロイド抗炎	症剤		獣医療の場で使用る	される薬剤の各論		
24	おもな薬剤の特性 非ステロイド抗炎	症剤		獣医療の場で使用る	 される薬剤の各論		
25	おもな薬剤の特性循環器疾患に対す			獣医療の場で使用る	される薬剤の各論		
26	おもな薬剤の特性			獣医療の場で使用る	される薬剤の各論		
27	循環器疾患に対す おもな薬剤の特性			獣医療の場で使用る	される薬剤の各論		
28	消化器疾患に対す おもな薬剤の特性	る薬					
	消化器疾患に対す おもな薬剤の特性	る薬		獣医療の場で使用る			
29	腫瘍疾患に対する	薬		獣医療の場で使用る	される薬剤の各論		
30	おもな薬剤の特性 腫瘍疾患に対する	薬		獣医療の場で使用される薬剤の各論			
31	薬用量の計算			動物は、年齢、体重、体格が様々である。薬物の投与量は 動物ごとに決定する必要がある。			
32	期末試験			動物薬理学の総まる			
	評	価方法・成績評価基準			履修上の注意		
D(59点以	評価方法・						
実務総	経験教員の経歴	動物看護師	として動物病院	党現場において 9	年間係わってし	 へた	

202 <mark>科目名</mark>	J 十/又		動物感染症		フェノールド号	『門学校 シラバス	
担当教	<u> </u>	東海林 愛美		務授業の有無	務授業の有無		
対象学	—————————————————————————————————————	動物看護師・リハビリ・トリマー学科	対象学年	2	開講時期	前期	
必修・ :	選択	必修	単位数	2	時間数	32	
	授業概要、目的、 寄生虫の分類、生物学的特徴、伝播様式や発病のメ 法など感染症対策の基礎について理解する。			メカニズムについて ^き	学び、検査や診断、	衛生管理、予防・治療	
学習目	 標	主にイヌネコに感染する内部寄生	三虫、外部寄生虫の	D感染経路、病害発生	生の機序、検査法、	予防法を学び、飼主に	
(到達	<u> </u>	寄生虫感染予防の大切さを伝えら	っれるようにする。				
	ト・教材・参	(株)EDUWARD Press発行 愛	を玩動物看護師カリ	リキュラム準拠教科書	書3巻		
回数		授業項目、内容		学習	プ方法・準備学習	習・備考	
1	寄生虫とは			テキスト・模型の何	使用		
2	内部寄生虫の分類			テキスト・模型の何	使用		
3	外部寄生虫の分類			テキスト・模型の作	使用		
4	原虫の分類、形態	、生活環及び病原性		テキスト・模型の作	テキスト・模型の使用		
5	原虫の分類、形態	、生活環及び病原性		テキスト・模型の使用			
6	蠕虫(吸虫、条虫	、線虫)の分類、形態、生活環及	び病原体	テキスト・模型の作	テキスト・模型の使用		
7	蠕虫(吸虫、条虫	、線虫)の分類、形態、生活環及	び病原体	テキスト・模型の作	使用		
8	蠕虫(吸虫、条虫	、線虫)の分類、形態、生活環及	び病原体	テキスト・模型の使用			
9	衛生動物(ダニ、	ノミなど)の分類、形態、生活環	及び病原体	テキスト・模型の使用			
10	衛生動物(ダニ、	ノミなど)の分類、形態、生活環	 及び病原体	テキスト・模型の使用			
11	衛生動物(ダニ、	ノミなど)の分類、形態、生活環	 及び病原体	テキスト・模型の使用			
12	寄生虫疾患の検査	、診断法		テキスト・模型の使用			
13	寄生虫疾患の検査	、診断法		テキスト・模型の作	テキスト・模型の使用		
14	駆虫薬や駆除剤の	使用法		テキスト・模型の1	使用		
15	駆虫薬や駆除剤の	使用法		テキスト・模型の作	使用		
16	期末試験						
	評	価方法・成績評価基準			履修上の注意		
D(60点未	成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・ D(60点未満)とする。						
実務経	実務経験教員の経歴 動物病院にて、動物看護師として13年実務経験						

202	3年度			国際ペ	ットワールド専	門学校 シラバス
科目名			動物臨床看護等	· · · · · ·		
担当教		遠藤純一		務授業の有無	BB =# □± ₩□	O × 5
対象学 必修・		動物看護師・リハビリ・トリマー学科 必修	対象学年	2	開講時期 時間数	通年 64
授業概	要、目的、 進め方	チーム獣医療の場で必要な病名や 護に活かすために必要な疾病につ 対面授業で実施	診断名について学	<u> </u>		
学習目 (到達		器官別の疾患について、特有の検査* によって、好発種や、好発年齢がある				
	スト・教材・参 ・その他資料	パワーポイント資料				
回数	444 c.d	授業項目、内容		学習	方法・準備学習	・備考
1	徴候や疾患の理解 代表的な徴候や病	:と対処 態、疾患について理解する		パワーポイント		
2	徴候の評価と記録	法について理解する		パワーポイント		
3	痛みの評価につい	て理解する		パワーポイント		
4	徴候・疾患に基づ	いた援助について理解する		パワーポイント		
5	全身徴候 食欲不振・廃絶、	元気喪失、発熱、疼痛、削痩		パワーポイント		
6	特異的微候	整脈(房室ブロック、期外収縮、心房・心室細動)	、高血圧	パワーポイント		
7	特異的微候 努力性呼吸、流涎、嘔吐、	吐出、下痢、便秘、血便、黄疸、頻尿、血尿、多飲	多尿	パワーポイント		
8	特異的徴候 跛行、掻痒、発作、	視力障害、難聴、眼振、斜頚、貧血、	出血傾向	パワーポイント		
9		、褥瘡、播種性血管内凝固(DIC)		パワーポイント		
10	感覚器系疾患 耳			パワーポイント		
11	感覚器系疾患 耳			パワーポイント		
12	感覚器系疾患 口腔			パワーポイント		
13	感覚器系疾患 口腔			パワーポイント		
14	感覚器系疾患 眼科			パワーポイント		
15	感覚器系疾患 眼科			パワーポイント		
16	期末試験					
17	振り返り					
18	Card worth from table and the	筋症、血栓塞栓症		パワーポイント		
19	循環器疾患 僧帽弁逆流症、心 循環器疾患	筋症、血栓塞栓症		パワーポイント		
20		ルニア、心房中隔欠損、心室中隔	欠損	パワーポイント		
21		ルニア、心房中隔欠損、心室中隔2	欠損	パワーポイント		
22		動脈弓遺残症、動脈管開存症、犬	糸状虫症	パワーポイント		
23		動脈弓遺残症、動脈管開存症、犬	糸状虫症	パワーポイント		
24		、鼻炎、軟口蓋過長		パワーポイント		
25		、鼻炎、軟口蓋過長		パワーポイント		
26		気道症候群、気管支拡張症、気管:	支炎	パワーポイント		
27		気道症候群、気管支拡張症、気管	支炎	パワーポイント		
28		喘息、膿胸、ジステンパー、ケン	ネルコフ	パワーポイント		
30	肺炎、肺水腫、猫 総復習	喘息、膿胸、ジステンパー、ケン	ネルコフ	パワーポイント		
31	期末試験			パワーポイント		
32	振り返り			パワーポイント		
		価方法・成績評価基準			履修上の注意	<u> </u>
D(59点以	成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・ D(59点以下)とする。					
美務網	経験教員の経歴	動	物病院にて動	物看護師として!	5 牛勁務	

科目名			動物内科看	護学			
担当教	<mark>員</mark> _	山下 静香	実	務授業の有無		0	
対象学	———— 科	動物看護師・リハビリ・トリマー学科	対象学年	2	開講時期	前期	
必修・ :		必修	単位数	2	時間数	32	
	授業概要、目的、 授業の進め方 犬や猫の日常的な健康管理や内科診療の補助に必要 どについて理解する。 対面授業で実施。		要な基礎知識を学び、	身体検査や採血、	投薬、輸液、輸血な		
学習目		獣医療を受けるさいに必要な検査やネ 人と犬にとって安全であり、犬が安/				遂行する重要性を理解で	
(到達	目標)	きる。					
	スト・教材・参 書・その他資料	エデュワードプレス 愛玩動物	3看護師カリキュ	ラム準拠教科書			
回数		授業項目、内容			方法・準備学習	・備考	
1		目(体重、体温、脈拍、呼吸、意識レベル、粘膜色、	股動脈圧、毛細血管再3	動物看護実習テキンパワーポイント資料			
2	健康の保持・増進	《節など》について理解する 目(体重、体温、脈拍、呼吸、意識レベル、粘膜色、	股動脈圧 毛細血管下っ	動物看護実習テキス			
		ヾ節など)について理解する	. 以到原江、七和皿皆円)	パワーポイント資料動物看護実習テキン			
3	採血の目的と方法			パワーポイント資料	· 		
4	マイクロチップの挿	入について理解する		動物看護実習テキンパワーポイント資料			
5	主要な検査機器			動物看護実習テキンパワーポイント資料	スト		
6	心電図検査 心電図検査の目的と	意義、心電図検査の実施方法について	て理解する	動物看護実習テキンパワーポイント資料	スト		
7	レントゲン検査、	CT・MRI検査		動物看護実習テキン			
	X線検査の目的と レントゲン検査、CT・MRIA	意義について理解する ^{倫意}		パワーポイント資料 動物看護実習テキン			
8	X線検査の実施方法と撮影体	本位について理解する。CT 及び MRI の概要について	て理解する	パワーポイント資料			
9	超音波検査 超音波検査の目的	と実施方法、保定体位について理	解する	動物看護実習テキスト パワーポイント資料			
10	内視鏡検査			動物看護実習テキスト			
	内視鏡検査の目的と 神経学的検査	意義、内視鏡検査の実施方法について	て埋解する	パワーポイント資料 動物看護実習テキスト			
11		射について理解する		パワーポイント資料			
12	眼科検査 シルマー試験、フルオレセク	イン試験、眼圧測定、眼底検査の方法と意義についっ	て理解する	動物看護実習テキスト			
13	耳の検査				パワーポイント資料 動物看護実習テキスト		
13	外耳道の検査方法 皮膚科検査	と意義について理解する		パワーポイント資料 動物看護実習テキ:	パワーポイント資料 動物手籍宝羽テセスト		
14	20 H 1 1 1 2 CLL	ンプ検査、被毛検査、皮膚生検につい	\て理解する	パワーポイント資料	박	715 /1 15 -	
15	授業振り返り			査) にはどのようフ	る臨床検査の種類(なものがあるのか、	を知る。	
16	期末試験			検体検査・生体検引 る	査に使用する主要な	検査機器について知	
	評価方法・成績評価基準				履修上の注意		
	5基準は、S(95点以. 以下)とする。	上)・A(80点以上)・B(70点以上)・	C(60点以上)·	実習で実践できるよ	うに、座学で知識を身	トに付ける。	
実務経	実務経験教員の経歴 動物病院にて動物看護師として4年勤務						

	3年度				·))	上門学校 シフハス
科目名			動物外科看護	隻学Ⅱ		
担当教.	員	佐山 恭子	実利	8授業の有無		0
対象学	科	動物看護師・リハビリ・トリマー学科	対象学年	2	開講時期	前期
必修・	選択	必修	単位数	2	時間数	32
	一般に必要な知識を習得する 授業概要、目的、 一般に必要な知識を習得する 一般に必要な知識を習得する 動物の術前管理、手術室管理、滅菌消毒法、術前準備、解 学療法 対面授業で実施				理解し、安全な手術の実 包帯法、救急救命法、理	
学習目		動物の臨床看護に必要な知識を習	得する			
	くト・教材・参き・その他資料	エデュワードプレス 愛玩動物	看護師カリキュラ	ム準拠教科書		
回数		授業項目、内容		学習	方法・準備学習	・備考
1	外傷、創傷管理 創傷の種類と治癒	過程と管理方法		医療ドラマの鑑賞		
2	外傷、創傷管理 骨折・脱臼の管理	について理解する		清潔と不潔とはを係	列を交えて	
3	術前準備 術前手続(飼い主へ	の説明、承諾書など)や術前検査につ	ついて理解する	手術を安全に行うための書類の交わし方		
4	術前準備 無菌的処置の重要性、手術衣、手術器具、タオル・ドレープ類の準備、滅菌法について理解する			衛生管理の徹底		
5		の説明、承諾書など)や術前検査につ	ついて理解する	他授業の内容に合わ	わせる	
6		ショニング、術野の消毒について理解	¥する	精密機器のメンテ	ナンスについて	
7	術者に必要な準備 手洗いの技術			在庫管理を行う		
8		る愛玩動物看護師の役割、麻酔リ	スクの評価	動画を交えて習得		
9		麻酔、吸入麻酔の手技について		必要性への理解		
10	和度、呼気終末二	電図、心拍数、呼吸数、体温、血) 酸化炭素濃度など)の監視方法	土、 虭 脈皿酸素飽	2 タイプを習得		
11		、縫合材、歯科器具の名称と使用	法について	意識改善		
12	術中補助 直接補助、間接補	助の内容について		スケッチ		
13		グ、疼痛管理の意義と方法につい	7	スケッチ		
14		次救命措置について		管理チェック表を原	用いる	
15	動物理学療法 動物理学療法の目	的と意義について		後期の実習に向けて	て総復習	
16	期末試験			修得状況の確認		
	評価方法・成績評価基準 履修上の注意					
	この科目で学んだことをしっかりと認識して実習に臨むこと。知 成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・ 助に復習に取り組み、時間が経ったから忘れたということがない ように取り組む。					
実務紹	E験教員の経歴	動物看護師	として動物病院	現場において9	年間係わってい	<u></u>

202 科目名	3 午及		動物形態機能)	門学校 シラバス
担当教	 員	平石 理恵	実務	8授業の有無		0
対象学	—————————————————————————————————————	動物看護師・リハビリ・トリマー学科	対象学年	2	開講時期	前期
必修・:	選択	必修	単位数	1	時間数	32
授業概授業の	要、目的、 進め方	動物の身体の形態と機能を、骨格標本動物を生命体として細胞、組織、臓器自分が触れているところには何がある 犬や猫の体を構成する骨、筋、内臓器対面授業で実施	トレベルの各階層での のかが立体的にわか	知識は動物形態機能学		の体に触れたとき、今、
	学習目標 (到達目標) 修得した知識の実践力を身に付ける					
	ト・教材・参・その他資料	エデュワードプレス 基礎動物	勿看護学			
回数		授業項目、内容		学習	方法・準備学習	留・備考 アルファイ
1	体表面:体位と方	向を示す用語				
2	標本による骨格形	態と機能の理解(頭蓋、歯)		骨格標本を用いる		
3	標本による骨格形	態と機能の理解(脊柱)		骨格標本を用いる		
4	標本による骨格形	態と機能の理解(肋骨と胸骨)		骨格標本を用いる		
5	標本による骨格形	態と機能の理解(肩、腕、前腕部	3)	骨格標本を用いる		
6	標本による骨格形態と機能の理解(骨盤を構成する骨)			骨格標本を用いる		
7	標本による骨格形	態と機能の理解(大腿と下腿を構	成する骨)	骨格標本を用いる		
8	主要な内臓器官の	配置				
9	生殖器の雌雄差 顕微鏡の取扱い					
10		称、鏡検条件(倍率など)につい	て			
11		作法・管理法について修得				
12	1221/7015	を顕微鏡で観察し、特徴について	理解する			
13		を顕微鏡で観察し、特徴について	理解する			
14	組織像に見られる代	表的な構造に関し、機能との関係につ	いて理解する			
15	期末試験					
16	フィードバック					
	評	価方法・成績評価基準			履修上の注意	
	成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・ D(59点以下)とする。 動物形態機能学で学んだことをしっかりと認識して実習に臨むこと。知識が不足している場合は実習に参加できないことがある。極的に実習に取り組み、全ての実習項目に出席する。]できないことがある。積
実務紹	験教員の経歴					

2023年度 国際ペットワールド専門学校 シラバス 科目名 動物内科看護学実習 II							
科目名 担当教		山下 静香				0	
担ヨ教 対象学		山 ト 一 一 一 一 一 一 一	対象学年	<mark>務授業の有無</mark> 2	開講時期	<u></u> 通年	
必修・		必修	単位数	2	時間数	64	
授業概 授業の	要、目的、 進め方	犬や猫の日常的な健康管理や内科 する。 1年次で習得した技術を実践する 対面授業で実施。	5.		内科看護学で学んだ	知識の実践力を習得	
学習目	人と犬にとって安全であり、犬が安心していられる接触のしか				の健全な管理と飼育を過	経行する重要性を理解で	
(到達		きる。					
	テキスト・教材・参 考図書・その他資料 動物看護実習テキスト第2版						
回数	+ // IA -	授業項目、内容		学習	習方法・準備学習	・備考	
1	身体検査 意識レベル、BC	S、粘膜色、体表リンパ節、体重	測定	実習			
2	身体検査 バイタルサインの	評価		実習			
3	身体検査	S、粘膜色、体表リンパ節、体重	測定	実習			
4	身体検査 バイタルサインの		./// / / _	実習			
5	身体検査		-201 ch	実習			
6	身体検査	S、粘膜色、体表リンパ節、体重	測定	実習			
7	バイタルサインの 診察補助	評価		実習			
- 8	診察準備、衛生管	理					
	基本的な保定			実習			
9	基本的な保定			実習			
10		注射器を適切に取り扱うことがで		実習			
11		注射器を適切に取り扱うことがで		実習			
12		注射器を適切に取り扱うことがで		実習			
13		テーテルの挿入を含む)の手順を		実習			
15		テーテルの挿入を含む)の手順を	省侍	実習			
16	前期総復習						
	期末試験			中羽			
17		口投与・注射の手順を習得		実習			
18		口投与・注射の手順を習得		実習			
19		を修得し、準備及び補助		実習			
20		を修得し、準備及び補助		実習			
21	輸液ポンプ、シリ			実習			
22	輸液ポンプ、シリ	ンジポンプ		実習			
23	輸液・輸血中の動			実習			
24	マイクロチップに	関わる技術		実習			
25	マイクロチップに	関わる技術		実習			
26	心電図検査を実施	し、結果を記録		実習			
27	X線撮影のための	基本的な保定、放射線防護		実習			
28	超音波検査のため	の基本的な保定		実習			
29	神経学的検査の所	見を記録		実習			
30	眼科検査、皮膚検	查、外耳道検査		実習			
31	総復習						
32	期末試験						
	評	価方法・成績評価基準			履修上の注意		
D(59点以	成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。 実務経験教員の経歴 動物病院にて動物看護師として4年勤務						
天扮名	経験教員の経歴	<u> </u>	別物内所にて動	が有護卵として	4 牛驯猪		

A 科目名	3		動物臨床検査等			<u>- 子仪 - ンノハス</u>
担当教	員	佐藤 緑	実利	8授業の有無		0
対象学	科	動物看護師・リハビリ・トリマー学科	対象学年	2	開講時期	前期
必修・	修・選択 必修 単位数		1	時間数	32	
	授業概要、目的、 授業の進め方 「動物臨床検査学実習 I 」で習得した手技に応用力を付け 見ないでも一人で責任を持った検査結果を出せるよう繰り きるようにする。常に検査結果を準値と比べ、異常値の場 タッフの安全と院内感染防止にも配慮し、検査後の看護動 対面授業で実施。		り返し実習し、また、 場合は速やかに獣医師	検査結果の意味と関 うに報告できるようー	連性臓器について考察で	
学習目的		習得した基礎の実践とし、臨床核	食査の意義を理解し	基本的手技を身につ	つける。また看護実	足践ができる
	スト・教材・参 ・その他資料	動物看護の実践、動物看護実	ミ習テキスト、パワ	7ーポイント資料		
回数		授業項目、内容		学習	方法・準備学習	・備考
1	筋・骨格、各臓器スムーズな臨床検	の名称・位置・働きなどの解剖・ 査が実施できる①	生理学を理解し、	実習(場合によって	ては座学交え行う)	
2	顕微鏡各部の名称	を知り、適切な操作法を身につけ	る①	実習(場合によって	ては座学交え行う)	
3		義・目的・採血部位・保定・駆血		実習(場合によっては座学交え行う)		
4	血液検査②-1 (血 寄生虫の検査)	液塗抹標本・生化学検査・輸血ク	ロスマッチ・住血	実習(場合によって	ては座学交え行う)	
5		疫学的検査・凝固系検査・小テス		実習(場合によって	ては座学交え行う)	
6	尿検査①-1 (意義・目的・機器備品の管理・採尿法物理学的性状検査 検査項目・手技・科学的検査項目・手技)			実習(場合によって	ては座学交え行う)	
7	F)	鏡学的検査項目・手技、正常値・		実習(場合によって	ては座学交え行う)	
8	査項目・手技)	的・意義・機器・備品管理採便法		実習 (場合によっては座学交え行う) 		
9	葉便検査②-1(顕 別・免疫学的検査	微鏡学的検査項目・手技※直接法 ・小テスト)	、浮遊法虫卵の判	実習(場合によっては座学交え行う)		
10		目的・意義・長所・欠点)		実習(場合によっては座学交え行う)		
11	細胞診検査(2)-1 (i ト)	検体の採取法・検体の保存法・ス	メア法・小テス	実習(場合によっては座学交え行う)		
12	骨髄検査①-1(目	的・意義・異常・疾患・準備・手	順)	実習(場合によっては座学交え行う)		
13	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	抹標本の作製・鏡検・小テスト)	1 +	実習(場合によっては座学交え行う)		
14	真菌の種類・細菌	1124)		実習(場合によっては座学交え行う)		
15	微生物学的検査② 抗生物質・鏡検・	-1(真菌培養・菌の同定・薬剤感 小テスト)		実習(場合によって	ては座学交え行う)	
16	期末試験					
	評	価方法・成績評価基準		履修上の注意		
成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・ (60点以上)・検査ごとに小テストを実施し、履修の理解度を把握する。また9 技試験を実施し、手技などの確認も行う				解度を把握する。また実		
実務紹	実務経験教員の経歴 動物看護師として6年弱、動物病院に勤務していた					

科目名			動物外科看護等				
担当教		佐山 恭子		務授業の有無 -			
対象学 必修・3		動物看護師・リハビリ・トリマー学科	対象学年 単位数	2	開講時期 時間数	通年	
	要、目的、	必修 看護動物が安全に麻酔(手術)を 的・意義を理解することが重要で 機材の管理が必要となる。 対面授業で実施。	を遂行するためには	は、術前の準備とし	て看護動物の術前評価		
学習目標 (到達)		周術期の術前・術中・術後におい 学び、外科看護技術を修得できる)役割である外科手	術の補助をするために	必要な基礎知識を	
	ト・教材・参・その他資料	動物看護実習テキスト(エデュワ	7ードプレス)、動	物看護の実践6(ファームプレス)		
回数		授業項目、内容		学習	方法・準備学習・	・備考	
1	麻酔記録			麻酔記録の書き方			
2	正常と異常を理解 麻酔覚醒	する		1年次の復習			
	麻酔覚醒の生じる 術後管理	メカニズムを理解する					
3	創傷の保護、包帯	法		1年次の復習			
4	術後管理 疼痛管理			ペインスケール			
5	術後管理 術後の動物の安静	- 環境を考える		リスクマネージメ	ント		
6	術後管理			給与エネルギーの	計算		
7	術後管理			チューブ設置方法			
8	栄養チュープ 去勢手術実習に向	けてシュミレーション			けて、個人のレベルア	'ップとチーム力を	
	術式の確認 去勢手術実習に向	けてシュミレーション		高める 去勢手術実習に向	けて、個人のレベルア	'ップとチーム力を	
9	器具、器材の準備			高める			
10	術中の動き、術後			去勢手術実習に向けて、個人のレベルアップとチーム力を 高める			
11	避妊手術実習に向 術式の確認	けてシュミレーション		避妊手術実習に向 高める	けて、個人のレベルア	'ップとチーム力を	
12	避妊手術実習に向	けてシュミレーション		避妊手術実習に向	けて、個人のレベルア	ップとチーム力を	
13	器具、器材の準備 避妊手術実習に向	けてシュミレーション			けて、個人のレベルア	'ップとチーム力を	
	術中の動き、術後	管理		高める	48		
	実技試験			外科看護技術の修	侍		
15	筆記試験			外科看護技術の修	得 ————————————————————————————————————		
16	フィードバック			外科看護技術の修得			
17	手術実習に向けて 器具機材の準備、			手術の周術期に関する業務を実践する			
18	手術実習に向けて 消毒、器具出し、			手術の周術期に関する業務を実践する			
19	手術実習に向けて 覚醒、術創の保護	術後管理		手術の周術期に関	する業務を実践する		
20	手術実習に向けて			手術の周術期に関する業務を実践する			
21	器具機材の準備、 手術実習に向けて			手術の周術期に関する業務を実践する			
	消毒、器具出し、 手術実習に向けて						
22	覚醒、術創の保護 腫瘍または乳腺手	術実習に向けて術前準備			する業務を実践する		
23	器具機材の準備、	術前検査		手術の周術期に関	する業務を実践する		
24	消毒、器具出し、			手術の周術期に関	する業務を実践する		
25	腫瘍または乳腺手 覚醒、術創の保護	術実習に向けて術後管理		手術の周術期に関	する業務を実践する		
26	骨折手術実習に向	けて術前準備		手術の周術期に関	する業務を実践する		
27	器具機材の準備、 骨折手術実習に向	けて周術期管理		手術の周術期に関	する業務を実践する		
28	消毒、器具出し、 骨折手術実習に向			手術の周術期に思	する業務を実践する		
	覚醒、術創の保護 ***な***☆						
	救急救命			外科看護技術の修			
30	総復習、実技試験	に向けて		外科看護技術の修	得		
31	実技試験			外科看護技術の修得			
32	筆記試験			外科看護技術の修	得 		
	評	価方法・成績評価基準			履修上の注意		
式績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・ つ(59点以下)とする。 1年次に習得した外科実習を実践する。麻酔管理は命にかかわる こととなるため、曖昧な知識のままでは参加が難しい。復習を行 い、実践に備えること。							
実務経	経験教員の経歴	動物看護師	として動物病院	現場において 9	9年間係わっていた	i.	

科目名	ペット関連産業概論						
担当教員	稲川 祥子	実	€務授業の有無 ○				
対象学科	動物看護師・リハビリ・トリマー学科	対象学年	2	開講時期	前期		
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	32		
授業概要、目的、 授業の進め方			行動倫理を理解するとともに、ベット飼養のニーズや形態、 業における動物取扱責任者としての実践的知識や手法を学ぶ。				
学習目標 (到達目標)	職業倫理の理解と、動物取扱責任者としての知識習:						
テキスト・教材・参考図書・その他資料	(株) EDUWARD Press発行 愛	玩動物看護師カリ	キュラム準拠教科書	計10巻			
回数	授業項目、内容		学習	方法・準備学習	習・備考		
1 ペット関連産	業とは		テキスト				
2 ペット関連産	業にはどのような分野があ	るか	テキスト				
3 ベットの飼養	実態と市場規模		テキスト				
4 ベット関連産	業の現状と課題①		ディスカッション				
5 ペット関連産	業の現状と課題②		ディスカッション				
6 ペット関連産	業の現状と課題③		ディスカッション				
7 ベット関連産	業における職業倫理	·	テキスト				
8 商取引におけ	る関連法規①		テキスト				
9 商取引におけ			テキスト				
10 動物の変護及 意義や必要性	ひ官埋に関する法律に基つ	く事則説明の	テキスト				
11 動物取扱業制			テキスト				
12 動物取扱責任:	者としての実践的知識①		テキスト				
	者としての実践的知識②		テキスト				
14 理に係る手法(者として必要な動物の取扱 ①		テキスト				
15 動物収扱責任: 理に係る手法(者として必要な動物の取扱 ②	万法や衛生官	テキスト				
16 期末評価							
言平'	評価方法・成績評価基準				履修上の注意		
成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(60点未満)とする。							
実務経験教員の経歴	動物症	病院にて動物看	護師として約5年	〒の実務経験			

科目名			動物看護総合	実習Ⅱ		
担当教	 員	担任	実別	<mark>8授業の有無</mark>		0
対象学	科	動物看護師・リハビリ・トリマー学科	対象学年	2	開講時期	通年
必修・:	選択	必修	単位数	2	時間数	45
授業概	要、目的、 進め方	修学した知識と技術が実際の動態病院の施設構造・機能を理解した 看護動物や飼い主への配慮を含め 対面授業で実施。	看護が行われている	る場の環境を理解す	ることで、獣医療	現場での臨床経験から
学習目		いままで修学した知識と技術、コミ 構えと社会人としての責任感を養い!			護師に見習うことで、	新人スタッフとしての心
	ト・教材・参 ・その他資料					
回数		授業項目、内容		学習	方法・準備学習	『・備考
1	発揮したい事項①	1 - 40 ct 1 . & cc 2 2 2 1 1 1 - 2 4 1	1六11.数库			
2	学びたい技術①	して相応しい態度、学習者としての相				
3	学びたい技術②	環境に関するアセスメント・整備 食事に関するアセスメント・介明				
4	学びたい技術③排泄技術	及事に因するところとと	נוין אַניט			
5	学びたい技術④	動・休息・援助に関するアセスメント	· 介助技術			
6	学びたい技術⑤	体の清潔に関するアセスメント・援助				
7	学びたい技術⑥	身体の呼吸・循環に関するアセス				
8	学びたい技術⑦	創傷管理に関するアセスメント・				
9	学びたい技術®	投薬に関するアセスメント・技術				
10	学びたい技術⑨	生体機能管理に関するアセスメン				
11	学びたい技術⑩	感染予防に関するアセスメント・				
12	学びたい技術⑪	安全管理に関するアセスメント・				
13	学びたい技術⑫	ミュニケーションに関するアセスメン				
14	学びたい技術® 動物病院で必要な					
	評·	価方法・成績評価基準			履修上の注意	
D(59点以	以下)とする。	.上)・A(80点以上)・B(70点以上)	・C(60点以上)・	動物病院での臨床実	32) H	
実務紹	経験教員の経歴					

科目名	3 平皮		動物栄養			打子仪 クノハス		
担当教	員	稲川 祥子	5	ミ務授業の有無		0		
対象学	科	動物看護師・リハビリ・トリマー学科	対象学年	2	開講時期	前期		
必修・)	選択	必修	単位数	2	時間数	32		
授業概要、目的、 授業の進め方 栄養学的管理が疾患の治療と健康の維持に大きく関連する疾病について各論として学ぶ。獣医師に 断された中で、動物看護師が栄養学的な管理に関わられる疾患について学び、課程での最適な管理 指導できる知識を習得する。 対面授業で実施。								
学習目標		疾患別の管理については、市販の療法食を活用する で使用することを周知させる必要がある。動物看記 よび食事の指導をする。						
	ト・教材・参	基本からよくわかる犬と猫の栄養	管理、その他資	資料配布				
回数		授業項目、内容		学習	方法・準備学習	・備考		
1	尿路結石/下部尿	路疾患		テキスト、資料を	使用			
2	心臓病			テキスト、資料を	———— 使用			
3	消化器病			テキスト、資料を使用				
4	腎臓病			テキスト、資料を使用				
5	肝臓病			テキスト、資料を	テキスト、資料を使用			
6	口腔疾患			テキスト、資料を	使用			
7	糖尿病			テキスト、資料を	テキスト、資料を使用			
8	食物アレルギー			テキスト、資料を使用				
9	関節炎			テキスト、資料を使用				
10	肥満			テキスト、資料を使用				
11	がん			テキスト、資料を使用				
12	脳の加齢と認知障 甲状腺機能亢進症			テキスト、資料を	 使用 			
13	術後の栄養管理 強制給餌と経管・			テキスト、資料を	—————————————————————————————————————			
14	ペットフード市場 関係法規			テキスト、資料を	—— ——— 使用 —————			
15	栄養指導			テキスト、資料を	—— ——— 使用			
16	まとめ			小テスト実施				
	評	価方法・成績評価基準			履修上の注意			
	基準は、S(95点以 (満)とする。	上) · A(80点以上) · B(70点以上) ·	C(60点以上)・	解剖生理の復習、小	テストを実施し、理解	解度を確認する。		
実務経	経験教員の経歴	動物物	病院にて動物	 看護師として約5 ^年	Fの実務経験			

202	3 年度			国際ペ	ットワールド専	門学校 シラバス
科目名			物愛護・適正館			
担当教		佐山 恭子		務授業の有無 。		O × 5
対象学 必修・		動物看護師・リハビリ・トリマー学科 必修	対象学年	2	開講時期 時間数	通年 64
授業概	要、目的、 進め方	1、動物種ごとの適切な食事や現 2、犬の飼育に必要な接し方・/ 3、猫・小動物の飼育に必要な接 対面授業で実施	·ンドリング・ケア	うになる ア方法を実践できる。	ようになる	
学習目(到達		正常な動物を知り、動物種ごとに	適した飼育管理を	:実践できる		
テキス	(ト・教材・参計・その他資料					
回数		授業項目、内容		学習	方法・準備学習	・備考
1	犬の飼育管理の実	習		実習(学校飼育動物	勿を実際にお世話す	る)
2	猫の飼育管理の実	習		実習(学校飼育動物	勿を実際にお世話す	న)
3	ウサギの飼育管理	の実習		実習(学校飼育動物	勿を実際にお世話す	3)
4	モルモットの飼育	管理の実習		実習(学校飼育動物	勿を実際にお世話す	る)
5	ハムスターの飼育				勿を実際にお世話す	
6	犬の飼育管理の実	習			勿を実際にお世話す	
7	猫の飼育管理の実				勿を実際にお世話す	
8	ウサギの飼育管理				勿を実際にお世話す	
9	モルモットの飼育				勿を実際にお世話す	
	ハムスターの飼育				勿を実際にお世話す	
	犬の飼育管理の実				勿を実際にお世話す	
12	猫の飼育管理の実				勿を実際にお世話す 	
13	ウサギの飼育管理				勿を実際にお世話す	
14	モルモットの飼育	管理の実習		実習(学校飼育動物	勿を実際にお世話す	3)
15	期末試験			筆記と実技の試験		
16	ハムスターの飼育	管理の実習・フィードバック		実習(学校飼育動物	物を実際にお世話す	る)
17	大動物の飼育管理	の実習		動物ふれあいセン	ターでの実習	
18	小動物の飼育管理	の実習		動物ふれあいセン:	ターでの実習	
19	犬の飼育管理の実	뀥		実習(学校飼育動物	物を実際にお世話す	る)
20	猫の飼育管理の実	뀔		実習(学校飼育動物	勿を実際にお世話す	る)
21	ウサギの飼育管理	の実習		実習(学校飼育動物	勿を実際にお世話す	る)
22	モルモットの飼育	管理の実習		実習(学校飼育動物	勿を実際にお世話す	న)
23	ハムスターの飼育	管理の実習		実習(学校飼育動物	物を実際にお世話す	3)
24	犬の飼育管理の実	褶		実習(学校飼育動物	物を実際にお世話す	3)
25	猫の飼育管理の実	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		実習(学校飼育動物	物を実際にお世話す	3)
26	ウサギの飼育管理	の実習		実習(学校飼育動物	勿を実際にお世話す	る)
27	モルモットの飼育	管理の実習		実習(学校飼育動物	勿を実際にお世話す	る)
28	ハムスターの飼育	管理の実習		実習(学校飼育動物	勿を実際にお世話す	る)
29	犬の飼育管理の実	꾑		実習(学校飼育動物	勿を実際にお世話す	న)
30	猫の飼育管理の実	뀥		実習(学校飼育動物	物を実際にお世話す	る)
31	ウサギの飼育管理	の実習		実習(学校飼育動物	物を実際にお世話す	る)
32	期末試験					
	評	価方法・成績評価基準			履修上の注意	
	成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・ D(59点以下)とする。					
実務紹	経験教員の経歴	動物物	■護師として9年	F、動物病院に勤	務していた	

対象学	科	秋元 彩子、佐藤 緑、 5 動物看護師・リハビリ・トリマー学科	対象学年			O	
			刈 家子 年	2	開講時期	通年	
	選択	必修	単位数	4	時間数	64	
	要、目的、 進め方	飼養動物や野生動物の概要を理 実験動物の品種や飼養管理法、動 物園などの展示動物の個体・群管	動物実験との関わり.				
·習目 (到達		産業動物、実験動物、野生動物、	展示動物について	理解する			
	ト・教材・参・その他資料	(株)EDUWARD Press発行 多	受玩動物看護師カリ	キュラム準拠教科	 書6巻		
回数		授業項目、内容			習方法・準備学習	・備考 -	
1	家畜 (産業動物)	とは何か		テキスト パワーポイント資	·料		
2	家畜の種類と特徴			テキスト		_	
3	家畜の種類と特徴			パワーポイント資 テキスト			
4	牛 家畜の種類と特徴			パワーポイント資 テキスト	[科		
	線羊・山羊 家畜の種類と特徴			パワーポイント資 テキスト	料		
5	豚 家畜の種類と特徴			パワーポイント資 テキスト	[料		
6	鶏			パワーポイント資	料		
7	主要家畜の飼養管 反芻動物(牛、羊	、山羊)		テキスト パワーポイント資	[料		
8	主要家畜の飼養管 馬	理法		テキスト パワーポイント資			
9	主要家畜の飼養管	理法		テキスト			
10	IX 主要家畜の飼養管 	理法		パワーポイント資料 テキスト			
	鶏 各家畜の性周期と	繁殖生理を理解		パワーポイント資料 テキスト			
				パワーポイント資料 テキスト			
12	各家畜の性周期と	緊頒生理を理解		パワーポイント資料 テキスト			
13	各家畜の飼育施設	の概要について理解		パワーポイント資	·料		
14	各家畜の飼育施設	の概要について理解		テキスト パワーポイント資	料		
15	各家畜の飼養法に	ついて理解		テキスト パワーポイント資			
16	期末試験			・ ノーかコノド貝	21.1		
17	動物実験の目的	意義について理解する		テキスト			
		統の概念を理解する		パワーポイント資 テキスト	i料		
				パワーポイント資 テキスト	i料		
19	代表的な実験動物	の飼育管理・繁殖法を理解する		パワーポイント資 テキスト	i料		
20	代表的な実験動物	の飼育管理・繁殖法を理解する		パワーポイント資	· · · ·		
21	実験動物の健康と	福祉/保定の仕方/個体の管理		テキスト パワーポイント資	[料		
22	実験動物の制御と	疾患モデル動物		テキスト パワーポイント資			
23	野生動物学の基礎			テキスト			
24	生物多様性の概念 野生動物学の基礎			パワーポイント資 テキスト			
		<u>意義を理解、鳥獣害の現状を理解</u> 生物多様性		パワーポイント資 テキスト	[料		
	野生動物の分類と 絶滅危惧種の保全			パワーポイント資 テキスト	[料		
26	レッドリストを理絶滅危惧種の保全	解		, ハイー パワーポイント資 テキスト	i料		
27	絶滅危惧性の休主 絶滅危惧となる原			パワーポイント資	料		
28	外来種の定義およ	び含まれる動物を理解		テキスト パワーポイント資	[料		
29	動物園の個体群管	理について理解		テキスト パワーポイント資			
30	展示動物の意義と	動物園の役割について理解		テキスト			
31	動物園の個体群管	理について理解		パワーポイント資 テキスト			
	期末試験			パワーポイント資	[料		
		価方法・成績評価基準			履修上の注意		
	-						
	基準は、S(95点以 人下)とする。	上) · A(80点以上) · B(70点以上) ·	· C(60点以上) ·				
たのよい							

おかけ 現代 日本	023	十次		A0 p24 apr pre-		ットワールドリ	引子仪	/ /// ۸
対象学科						•		
少学・連門 少多 子の 子の 子の 子の 子の 子の 子の 子						BP 5# 6# 110	_	2.5
展案機関、目的、 政策の進め方								通年
野東原東、199、	修・選	選択	必修	単位数	6	時間数		88
### 200m								
# 京田藤								
学習目標 (初速日標) ペット需要報主資係の合格を目標とする。 デキスト・数対・表 初図書、その他食食 ペットの実験では対したがあり (大・アン・ア・のみを助しな) ペットの機力 (大・アン・ア・のみを助しな) 1 ペットフ・ドルの場をと述 (ペットフ・ドルの場をと述) 用医療、資料の使用 (ス・ス・アン・ア・の必要を助しな) 用医療、資料の使用 (大・ス・カーの使用 (大・ス・カーのを) 4 イヌとよっなが (イスのライフステージと栄養) 用医療、資料の使用 (大・ス・カーの使用 (大・ス・ス・カーの使用 (大・ス・ス・カーの使用 (大・ス・ス・カーの使用 (大・ス・ス・カーの使用 (大・ス・ス・カーの使用 (大・ス・ス・カーの使用 (大・ス・ス・カーの使用 (大・ス・ス・カーの使用 (大・ス・ス・カーの使用 (大・ス・ス・カーの使用 (大・ス・ス・カーの使用 (大・ス・ス・カーの使用 (大・ス・ス・カーの使用 (大・ス・ス・カーの使用 (大・ス・カーの使用 (大・ス・カーの使用 (大・ス・カーの使用 (大・ス・カーの使用 (大・ス・カーの使用 (大・ス・カーの使用 (大・ス・カーの使用 (大・ス・カーの使用 (大・ス・カーの使用 (大・ス・カーの使用 (大・ス・カーの使用 (大・ス・カーの使用 (大・ス・カーの使用 (大・ス・カーの使用 (大・ス・カーの使用 (大・ス・カーの使用 (大・ス・カーの使用 (大・ア・ス・ト) (大・ア・ス・ト) (大・ア・ス・ト) (大・ア・ス・ト) (大・ス・ス・大・の食事度法 (大・ス・ス・大・の食事度法 (大・ス・ス・大・の食事度法 (大・ス・ス・大・の食事度法 (大・ス・ス・大・の食事度法 (大・ス・ス・大・の食事度法 (大・ス・ス・大・の食事度法 (大・ス・ス・大・のを用 (大・ア・ス・大・の食事度法 (大・ス・ス・大・のを用 (大・ス・ス・大・のを用 (大・ス・ス・大・のを用 (大・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス	業の進	≛の力		理解し、ベットフ	一トの輸入・製造	・販売業者に必要な	よ知識を習行	च ७ ००
(少)・								
マー・マット マー・マット マー・マット マー・マット マー・マット マー・アット			ペット栄養管理士資格の合格を	目標とする。				
回数								
世界の大学・中の市価を 1			ペット栄養管理士認定試験想定	問題集(第5集)				
1 ペットラータの新聞的経験法 2 ペットラーとの書籍的経験法 2 ペットラーとの書籍的経験法 2 ペットラーとの書籍的経験法 3 ペットラーとの書籍といる近常料 ペットラーと開き。数年の使用 3 ペットフードの職 3 ペットフードの職 4 イズとみコの食性・採食ペターン・増分・採食量および飲水量 5 イズのライフステージと栄養 6 エネルイー 用塩素、資料の使用 6 エネルイー 用塩素、資料の使用 7 トケスト 用塩素、資料の使用 9 土水素よどの設割 用塩素、資料の使用 10 ケダスト 用塩素、資料の使用 11 こネラル化財 用塩素、資料の使用 11 こネラル化財 用塩素、資料の使用 12 ペィ・ココの皮素 クサイの食を実施法 用塩素、資料の使用 13 かテスト 制塩素、資料の使用 14 水に器原足の費 用塩素、資料の使用 15 配面の食事療法 用塩素、資料の使用 16 指数度の食を療法 用塩素、資料の使用 17 耐痰素の含素を含め、用塩素、資料の使用 18 配面の食事療法 用塩素の食料の使用 18 松の素の食者療法 用塩素、資料の使用 19 水があるの食事療法 用塩素、資料の使用 10 から素の食事療法 用塩素、資料の使用 11 日間疾の食者療法 用塩素、資料の使用 12 パーケーの食事療法 用塩素、資料の使用 13 かテスト 用塩素、資料の使用 14 別様の食者療法 用塩素・食料の使用 15 日間の食者療法 用塩素・食料の使用 16 日間疾の食者療法 用塩素・食料の使用 17 日間疾の食者療法 用塩素・食料の使用 18 松の素の食事産 用塩素・食料の使用 19 水があるの食事産 用塩素・食料の使用 11 日間なり発集中講産 用塩素、食料の使用 12 小テスト 用塩素、食料の使用 12 小テスト 用塩素、食料の使用 13 協力分野集中講産 用塩素、食料の使用 14 協力分野集中講産 用塩素、食料の使用 15 現まの食料の使用 16 別点分野集中講産 用塩素、食料の使用 17 別点分野集中講産 用塩素、食料の使用 18 別点の分野集中講産 用塩素、食料の使用 18 別点分野集中講産 用料の使用 18 別点分野集中講産 用塩素、食料の使用 18 別点分野集 中間は 用土を対産を用金を用金を用金を用金を用金を用金を用金を用金を用金を用金を用金を用金を用金を		・その他質科	15.W-F C 1.C		314 77	71-1-14 WE OF ALC	777 (## #V	
	0	ペットフードの添					省・偏考	
 ペットフードの参加を送出をペットフードの表示 ペットフードの動の設法を含ベットフードの表示 イストス・コの食性・経済パケーン・場好・経資量および飲水量 知恵集、資料の使用 イストス・スの食性・経済パケーン・場好・経資量および飲水量 知恵集、資料の使用 ・ スルギー 知恵集、資料の使用 ・ スルギー 知恵集、資料の使用 ・ 大アスト 初恵集、資料の使用 ・ シー・パカー ・ 大学スト 初恵集、資料の使用 ・ シー・パカー ・ スト・ス・ス・の配車 ・ カー・パカー ・ スト・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス	1 ^	ペットフードの各	種動物試験法		問題集。資料の信	き 用		
3 ペットフード田和 4 イヌとも3の食性・経食パターン・地野・経安量および飲水量 5 イヌのタイフステージと栄養 6 エネルギー 問題集、資料の使用 7 小ケスト 問題集、資料の使用 7 小ケスト 問題集、資料の使用 8 未養素の消化と吸収 問題集、資料の使用 10 ビタミン 問題集、資料の使用 11 ミネラルビ財 問題集、資料の使用 11 ミネラルビ財 問題集、資料の使用 12 イヌ・ネコの配産					問題集。資料の依	E用		
ペットアードに関わら該議会とペットラードの表示	^				問題集。資料の何	押		
5 イスのフィフステージと来養 問題集、資料の使用 6 エネルギー 問題集、資料の使用 7 小テスト 問題集、資料の使用 8 栄養素の消化と吸収 問題集、資料の使用 9 三大栄養素とその役割 問題集、資料の使用 10 ビタミン 問題集、資料の使用 11 ミネラル代謝 問題集、資料の使用 12 イヌ・ネコの肥満 フサギの資産の資産の実施 フリギの企業を決した機 問題集、資料の使用 13 かテスト 問題集、資料の使用 14 済化経療とた機 問題集、資料の使用 15 歴世界不全の食事療法 問題集、資料の使用 16 肝臓疾患の食事療法 問題集、資料の使用 17 前株の栄養管理 問題集、資料の使用 18 財産の食事療法 問題集、資料の使用 19 関心の全を要素 問題集、資料の使用 19 関心の全を要素 問題集、資料の使用 20 アルイー・つま事療法 問題集、資料の使用 21 別点の分野集中講座 問題集、資料の使用 22 弱点分野集中講座 問題集、資料の使用 23 弱点分野集中講座 問題集、資料の使用 24 弱点分野集中講座 問題集、資料の使用 29 弱点分野集中講座 問題集、資料の使用 30 弱点分野集中講座 問題集、資料の使用 31 弱点分野集中講座 問題集、資料の使用 32 弱点分野集中講座 問題集、資料の使用 33 弱点分野集中講座 問題集、資料の使用 33 弱点分野集中講座 問題集、資料の使用	^							
 6 エネルギー 問題集、責料の使用 7 小テスト 問題集、責料の使用 8 栄養素の消化と吸収 問題集、責料の使用 10 ピタミン 問題集、資料の使用 11 ミネラル代謝 問題集、資料の使用 12 イヌ・ネコの配着 問題集、資料の使用 13 イアスト 14 消化器疾患と尿費 問題集、資料の使用 15 房在窓の食事療法 問題集、資料の使用 16 肝臓疾患の食事療法 問題集、資料の使用 17 病状患の食事療法 問題集、資料の使用 18 所成患の食事療法 問題集、資料の使用 19 情報の食事療法 問題集、資料の使用 10 所成となり業事態法 問題集、資料の使用 10 所成となり業事法 問題集、資料の使用 20 アルイモのな事務法 問題集、資料の使用 21 対小思の食事療法 問題集、資料の使用 22 対小思の食事事法 問題集、資料の使用 23 済成分野集中講座 問題集、資料の使用 24 分子といまして 問題集、資料の使用 25 弱点分野集中講座 問題集、資料の使用 26 弱点分野集中講座 問題集、資料の使用 27 弱点分野集中講座 問題集、資料の使用 28 弱点分野集中講座 問題集、資料の使用 29 弱点分野集中講座 問題集、資料の使用 30 弱点分野集中講座 問題集、資料の使用 32 弱点分野集中講座 問題集、資料の使用 33 弱点分野集中講座 問題集、資料の使用 34 弱点分野集中講座 問題集、資料の使用 35 弱点分野集中講座 問題集、資料の使用 36 弱点分野集中講座 問題集、資料の使用 37 弱点分野集中講座 問題集、資料の使用 38 高分野集中講座 問題集、資料の使用 39 弱点分野集中講座 問題集、資料の使用 30 弱点分野集中講座 問題集、資料の使用 31 弱点分野集中講座 問題集、資料の使用 32 弱点分野集中講座 問題集、資料の使用 33 弱点分野集中講座 問題集、資料の使用 34 弱点分野集中講座 問題集、資料の使用 35 弱点分野集中講座 問題集、資料の使用 36 弱点分野集中講座 問題集、資料の使用 37 弱点分野集中講座 問題集、資料の使用 38 高点分野集中講座 問題集、資料の使用 39 弱点分野集中講座 問題集、資料の使用 30 弱点分野集中講座 問題集、資料の使用 31 弱点分野集中講座 問題集、資料の使用 32 弱点分野集中講座 問題集、資料の使用 33 弱点分野集中講座 問題集、資料の使用 34 弱点分野集中講座 問題集、資料の使用 35 弱点分野集中講座 問題集、資料の使用 36 湯分野集中講座 問題集、資料の使用 37 弱点分野集中講座 問題集、資料の使用 38 高分野集中講座 問題集、資料の使用 39 弱点分野集中講座 問題集、資料の使用 30 弱点分野集中講座 問題集、資料の使用 31 弱点分野集中講座 問題集、資料の使用 32 弱点分野集中講座 問題集、資料の使用 33 弱点分野集中講座 問題集、資料の使用 34 規入の発育・資料の使用 35	4 1	イヌとネコの食性	・採食バターン・嗜好・採食量は	および飲水量	問題集。資料の信	き 用		
7 小アスト 問題集、資料の使用 8 栄養素の所化と吸収 問題集、資料の使用 10 ピタミン 問題集、資料の使用 11 ミネフル代謝 問題集、資料の使用 12 イヌ・ネコの配書 ウザギの食事と保険 問題集、資料の使用 13 小アスト 問題集、資料の使用 14 消化器疾患と栄養 問題集、資料の使用 15 設在日の食事解法 受好な必要な事法法 同題集、資料の使用 問題集、資料の使用 16 肝臓の患の食事療法 開放患の食事療法 開放患の食事療法 開放患の食事療法 開放生の食事療法 開放生の食事療法 開放生の使用 問題集、資料の使用 17 所状の実験管理 別だいた思の食事療法 開放の患者療法 関係の企業を選問 問題集、資料の使用 20 アンレイギーの食事療法 別所の企業事態 別能の受験機中講産 問題集、資料の使用 21 小テスト 問題集、資料の使用 22 弱点分野集中講座 問題集、資料の使用 23 弱点分野集中講座 問題集、資料の使用 24 弱点分野集中講座 問題集、資料の使用 25 弱点分野集中講座 問題集、資料の使用 26 弱点分野集中講座 問題集、資料の使用 30 弱点分野集中講座 問題集、資料の使用 31 弱点分野集中講座 問題集、資料の使用 32 弱点分野集中講座 問題集、資料の使用 33 弱点分野集中講座 問題集、	5 1	イヌのライフステ	ージと栄養		問題集。資料の信	使用		
7 小アスト 問題集、資料の使用 8 栄養素の所化と吸収 問題集、資料の使用 10 ピタミン 問題集、資料の使用 11 ミネフル代謝 問題集、資料の使用 12 イヌ・ネコの配書 ウザギの食事と保険 問題集、資料の使用 13 小アスト 問題集、資料の使用 14 消化器疾患と栄養 問題集、資料の使用 15 設在日の食事解法 受好な必要な事法法 同題集、資料の使用 問題集、資料の使用 16 肝臓の患の食事療法 開放患の食事療法 開放患の食事療法 開放患の食事療法 開放生の食事療法 開放生の食事療法 開放生の使用 問題集、資料の使用 17 所状の実験管理 別だいた思の食事療法 開放の患者療法 関係の企業を選問 問題集、資料の使用 20 アンレイギーの食事療法 別所の企業事態 別能の受験機中講産 問題集、資料の使用 21 小テスト 問題集、資料の使用 22 弱点分野集中講座 問題集、資料の使用 23 弱点分野集中講座 問題集、資料の使用 24 弱点分野集中講座 問題集、資料の使用 25 弱点分野集中講座 問題集、資料の使用 26 弱点分野集中講座 問題集、資料の使用 30 弱点分野集中講座 問題集、資料の使用 31 弱点分野集中講座 問題集、資料の使用 32 弱点分野集中講座 問題集、資料の使用 33 弱点分野集中講座 問題集、	6 1	エネルギー			問題集。資料の何	押		
8 業業素の消化と吸収 問題集、資料の使用 9 三大栄養素とその役割 問題集、資料の使用 10 ビタミン 問題集、資料の使用 11 ミネラル代謝 問題集、資料の使用 12 イヌ・ネコの配角 ウサゼの食業とし気気 問題集、資料の使用 13 小ラスト 問題集、資料の使用 14 消化循係患と栄養 問題集、資料の使用 15 原在底の食事療法 問題集、資料の使用 16 肝臓患の食事療法 問題集、資料の使用 17 開放患の食事等法 問題集、資料の使用 18 自然の必要事事法 問題集、資料の使用 19 無品の必要事事法 問題集、資料の使用 20 アンルマナーの食事事法 問題集、資料の使用 21 小テスト 問題集、資料の使用 22 別点分野集中講座 問題集、資料の使用 23 弱点分野集中講座 問題集、資料の使用 24 弱点分野集中講座 問題集、資料の使用 25 弱点分野集中講座 問題集、資料の使用 26 弱点分野集中講座 問題集、資料の使用 31 弱点分野集中講座 問題集、資料の使用 32 弱点分野集中講座 問題集、資料の使用 33 弱点分野集中講座 問題集、資料の使用								
9 三大米養素とその依割 問題集、資料の使用 10 ビタミン 問題集、資料の使用 11 ミネクル代謝 問題集、資料の使用 12 イヌ・ネコの配筒 ウザ化の食量と助気 問題集、資料の使用 13 小ラスト 問題集、資料の使用 14 消化菌疾患と栄養 問題集、資料の使用 15 尿石症の食事確法 問題集、資料の使用 16 附額体の皮事確法 問題集、資料の使用 17 個別の整理書 問題集、資料の使用 16 開級企業を事業法 問題集、資料の使用 17 個別の整理書 問題集、資料の使用 18 自然の必要書法 問題集、資料の使用 19 無益地企 問題集、資料の使用 20 アンレルギーの食事書法 問題集、資料の使用 21 小テスト 問題集、資料の使用 22 弱点分野集中講座 問題集、資料の使用 23 弱点分野集中講座 問題集、資料の使用 24 弱点分野集中講座 問題集、資料の使用 25 弱点分野集中講座 問題集、資料の使用 30 弱点分野集中講座 問題集、資料の使用 31 弱点分野集中講座 問題集、資料の使用 32 弱点分野集中講座 問題集、資料の使用 33 弱点分野集中講座 問題集、資料の使用 34 弱点分野集中講座 問題集、資料の使用 35 弱点分野集中講座 問題集、資料の使用 36 弱点分野集中講座 問題集、資料の使用 37 弱点分野集中講座 問題集、資料の使用 38 点	7 归	小テスト			問題集。資料の信	E用		
10 ピタミン 問題集、資料の使用	8 绵	栄養素の消化と吸	収		問題集。資料の信	使用	_	
10 ピタミン 問題集、資料の使用	9 =	三大栄養素とその	役割		問題集。資料の何	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		
11			•					
12	10 6	ビタミン			問題集。資料の信	門		
13	11	ミネラル代謝			問題集。資料の依	E用		
フサーの資本に供気 問題集、資料の使用 13 小テスト 問題集、資料の使用 15 反石匠の資事療法 慢性腎子企の倉事療法 慢性腎子企の倉事療法 同態果、資料の使用 問題集、資料の使用 16 計談氏患の含事療法 慢性腎子企の食事療法 開放免費の資事法 環境の企業の業事法 問題集、資料の使用 17 加料販売の食事等法 環境の企業の業事法 共通必定 問題集、資料の使用 20 其常行動と栄養管理 大力運動と変養管理 大力運動と変養管理 大力運動と変養管理 (20 其常力数と栄養管理 (21 小テスト) 問題集、資料の使用 21 小テスト 問題集、資料の使用 22 弱点分野集中講座 問題集、資料の使用 23 弱点分野集中講座 問題集、資料の使用 24 弱点分野集中講座 問題集、資料の使用 25 弱点分野集中講座 問題集、資料の使用 26 弱点分野集中講座 問題集、資料の使用 30 弱点分野集中講座 問題集、資料の使用 31 弱点分野集中講座 問題集、資料の使用 32 弱点分野集中講座 問題集、資料の使用 33 弱点分野集中講座 問題集、資料の使用 34 弱点分野集中講座 問題集、資料の使用 35 弱点分野集中講座 問題集、資料の使用 36 弱点分野集中講座 問題集、資料の使用 37 弱点分野集中講座 問題集、資料の使用 39 弱点分野集中講座 問題集、資料の使用 41 弱点分野集中講座 問題集、資料の使用 42 弱点分野集中講座 問題集、資料の使用 43 弱点分野集中講座 問題集、資料の使用 43 弱点分野集中講座 問題集、資料の使用 43 弱点分野集中講座					問題集。資料の信			
14	7		気					
15 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日	13 月	ツァスト			问題薬。資料の仮	P. 用		
15 世代平全の食事療法 問題集。資料の使用 日接底を食食事務法 問題集。資料の使用 日接底を食事 問題集。資料の使用 日	14 洋	消化器疾患と栄養			問題集。資料の依	使用		
### 世代の子生の女事等法 問題年。資料の使用 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日	15				問題集。資料の侵	使用		
17								
18歳の火養容理 18歳の火養容理 18歳の火養容理 18歳の火養容理 18歳の食事療法 19題集、資料の使用 19歳集、資料の使用 19歳集、資料の使用 19歳集、資料の使用 19歳集、資料の使用 19歳集・資料の使用 19歳分野集中講座 19歳集・資料の使用 19歳集・資料の使用 19歳集・資料の使用 19歳集・資料の使用 19歳余分野集中講座 19歳集・資料の使用 19歳余分野集中講座 19歳集・資料の使用 19歳集・資料の使用 19歳余分野集中講座 19歳集・資料の使用 19歳集・資料の使用 19歳余分野集中講座 19歳集・資料の使用 19歳余分野集中講座 19歳集・資料の使用 19歳集・資料の使用 19歳余分野集中講座 19歳余分野集・講座 19歳余分野集・対属座 19歳余分野集・資料の使用 19歳余分野集・資産 19歳余分野集・利産 19歳余分野集・資産 19歳余分野集・対産 19			法		问題集。資料の物	R/H		
18					問題集。資料の依	使用		
19					問題集。資料の信	使用		
大売の米性	65	贈水病の食事療法 慢性心不全の食事	療法		明顯性 姿刻のを	F.FR		
20 異常行動と栄養管理 問題集。資料の使用 21 小テスト 問題集。資料の使用 22 弱点分野集中講座 問題集。資料の使用 23 弱点分野集中講座 問題集。資料の使用 24 弱点分野集中講座 問題集。資料の使用 25 弱点分野集中講座 問題集。資料の使用 26 弱点分野集中講座 問題集。資料の使用 27 弱点分野集中講座 問題集。資料の使用 29 弱点分野集中講座 問題集。資料の使用 30 弱点分野集中講座 問題集。資料の使用 31 弱点分野集中講座 問題集。資料の使用 32 弱点分野集中講座 問題集。資料の使用 34 弱点分野集中講座 問題集。資料の使用 35 弱点分野集中講座 問題集。資料の使用 36 弱点分野集中講座 問題集。資料の使用 39 弱点分野集中講座 問題集。資料の使用 40 弱点分野集中講座 問題集。資料の使用 41 弱点分野集中講座 問題集。資料の使用 42 弱点分野集中講座 問題集。資料の使用 43 弱点分野集中講座 問題集。資料の使用 44 機擬試験 問題集。資料の使用 44 機擬試験 問題集。資料の使用	Э 7		療法		回起来。 具行の	C/III		
22 弱点分野集中講座 問題集。資料の使用 23 弱点分野集中講座 問題集。資料の使用 24 弱点分野集中講座 問題集。資料の使用 25 弱点分野集中講座 問題集。資料の使用 26 弱点分野集中講座 問題集。資料の使用 27 弱点分野集中講座 問題集。資料の使用 29 弱点分野集中講座 問題集。資料の使用 30 弱点分野集中講座 問題集。資料の使用 31 弱点分野集中講座 問題集。資料の使用 32 弱点分野集中講座 問題集。資料の使用 33 弱点分野集中講座 問題集。資料の使用 34 弱点分野集中講座 問題集。資料の使用 35 弱点分野集中講座 問題集。資料の使用 36 弱点分野集中講座 問題集。資料の使用 39 弱点分野集中講座 問題集。資料の使用 40 弱点分野集中講座 問題集。資料の使用 41 弱点分野集中講座 問題集。資料の使用 42 弱点分野集中講座 問題集。資料の使用 43 弱点分野集中講座 問題集。資料の使用 44 機擬試験 問題集。資料の使用 44 機擬試験 問題集。資料の使用					問題集。資料の信	使用		
23 弱点分野集中講座 問題集。資料の使用 24 弱点分野集中講座 問題集。資料の使用 25 弱点分野集中講座 問題集。資料の使用 26 弱点分野集中講座 問題集。資料の使用 27 弱点分野集中講座 問題集。資料の使用 28 弱点分野集中講座 問題集。資料の使用 30 弱点分野集中講座 問題集。資料の使用 31 弱点分野集中講座 問題集。資料の使用 32 弱点分野集中講座 問題集。資料の使用 33 弱点分野集中講座 問題集。資料の使用 34 弱点分野集中講座 問題集。資料の使用 36 弱点分野集中講座 問題集。資料の使用 37 弱点分野集中講座 問題集。資料の使用 39 弱点分野集中講座 問題集。資料の使用 40 弱点分野集中講座 問題集。資料の使用 41 弱点分野集中講座 問題集。資料の使用 42 弱点分野集中講座 問題集。資料の使用 43 弱点分野集中講座 問題集。資料の使用 43 弱点分野集中講座 問題集。資料の使用 44 模擬試験 問題集。資料の使用 44 模擬試験 問題集。資料の使用					問題集。資料の依	使用		-
23 弱点分野集中講座 問題集。資料の使用 24 弱点分野集中講座 問題集。資料の使用 25 弱点分野集中講座 問題集。資料の使用 26 弱点分野集中講座 問題集。資料の使用 27 弱点分野集中講座 問題集。資料の使用 28 弱点分野集中講座 問題集。資料の使用 30 弱点分野集中講座 問題集。資料の使用 31 弱点分野集中講座 問題集。資料の使用 32 弱点分野集中講座 問題集。資料の使用 33 弱点分野集中講座 問題集。資料の使用 34 弱点分野集中講座 問題集。資料の使用 36 弱点分野集中講座 問題集。資料の使用 37 弱点分野集中講座 問題集。資料の使用 39 弱点分野集中講座 問題集。資料の使用 40 弱点分野集中講座 問題集。資料の使用 41 弱点分野集中講座 問題集。資料の使用 42 弱点分野集中講座 問題集。資料の使用 43 弱点分野集中講座 問題集。資料の使用 43 弱点分野集中講座 問題集。資料の使用 44 模擬試験 問題集。資料の使用 44 模擬試験 問題集。資料の使用	22 =	弱点分野集中間			問題集 姿料の4	師		
24 弱点分野集中講座 問題集。資料の使用 25 弱点分野集中講座 問題集。資料の使用 26 弱点分野集中講座 問題集。資料の使用 27 弱点分野集中講座 問題集。資料の使用 28 弱点分野集中講座 問題集。資料の使用 30 弱点分野集中講座 問題集。資料の使用 31 弱点分野集中講座 問題集。資料の使用 32 弱点分野集中講座 問題集。資料の使用 34 弱点分野集中講座 問題集。資料の使用 35 弱点分野集中講座 問題集。資料の使用 36 弱点分野集中講座 問題集。資料の使用 39 弱点分野集中講座 問題集。資料の使用 40 弱点分野集中講座 問題集。資料の使用 41 弱点分野集中講座 問題集。資料の使用 42 弱点分野集中講座 問題集。資料の使用 43 弱点分野集中講座 問題集。資料の使用 44 機械試験 問題集。資料の使用 44 機械試験 問題集。資料の使用								
25	23 ∮	弱点分野集中記	第 坐		問題集。資料の信	E用		
26 弱点分野集中講座 問題集。資料の使用 27 弱点分野集中講座 問題集。資料の使用 28 弱点分野集中講座 問題集。資料の使用 29 弱点分野集中講座 問題集。資料の使用 30 弱点分野集中講座 問題集。資料の使用 31 弱点分野集中講座 問題集。資料の使用 32 弱点分野集中講座 問題集。資料の使用 33 弱点分野集中講座 問題集。資料の使用 35 弱点分野集中講座 問題集。資料の使用 36 弱点分野集中講座 問題集。資料の使用 37 弱点分野集中講座 問題集。資料の使用 40 弱点分野集中講座 問題集。資料の使用 40 弱点分野集中講座 問題集。資料の使用 41 弱点分野集中講座 問題集。資料の使用 42 弱点分野集中講座 問題集。資料の使用 43 弱点分野集中講座 問題集。資料の使用 44 機擬試験 問題集。資料の使用	24 ∮	弱点分野集中詞	青座		問題集。資料の依	使用		-
26 弱点分野集中講座 問題集。資料の使用 27 弱点分野集中講座 問題集。資料の使用 28 弱点分野集中講座 問題集。資料の使用 29 弱点分野集中講座 問題集。資料の使用 30 弱点分野集中講座 問題集。資料の使用 31 弱点分野集中講座 問題集。資料の使用 32 弱点分野集中講座 問題集。資料の使用 33 弱点分野集中講座 問題集。資料の使用 35 弱点分野集中講座 問題集。資料の使用 36 弱点分野集中講座 問題集。資料の使用 37 弱点分野集中講座 問題集。資料の使用 40 弱点分野集中講座 問題集。資料の使用 40 弱点分野集中講座 問題集。資料の使用 41 弱点分野集中講座 問題集。資料の使用 42 弱点分野集中講座 問題集。資料の使用 43 弱点分野集中講座 問題集。資料の使用 44 機擬試験 問題集。資料の使用	25 ਵ	弱点分野隼中間	萬座		問題集。資料の名	師用		
27 弱点分野集中講座 問題集。資料の使用 28 弱点分野集中講座 問題集。資料の使用 29 弱点分野集中講座 問題集。資料の使用 30 弱点分野集中講座 問題集。資料の使用 31 弱点分野集中講座 問題集。資料の使用 32 弱点分野集中講座 問題集。資料の使用 34 弱点分野集中講座 問題集。資料の使用 35 弱点分野集中講座 問題集。資料の使用 36 弱点分野集中講座 問題集。資料の使用 37 弱点分野集中講座 問題集。資料の使用 39 弱点分野集中講座 問題集。資料の使用 40 弱点分野集中講座 問題集。資料の使用 41 弱点分野集中講座 問題集。資料の使用 42 弱点分野集中講座 問題集。資料の使用 43 弱点分野集中講座 問題集。資料の使用 44 模擬試験 問題集。資料の使用 44 模擬試験 問題集。資料の使用								
28 弱点分野集中講座 問題集。資料の使用 29 弱点分野集中講座 問題集。資料の使用 30 弱点分野集中講座 問題集。資料の使用 31 弱点分野集中講座 問題集。資料の使用 32 弱点分野集中講座 問題集。資料の使用 34 弱点分野集中講座 問題集。資料の使用 35 弱点分野集中講座 問題集。資料の使用 36 弱点分野集中講座 問題集。資料の使用 37 弱点分野集中講座 問題集。資料の使用 39 弱点分野集中講座 問題集。資料の使用 40 弱点分野集中講座 問題集。資料の使用 41 弱点分野集中講座 問題集。資料の使用 42 弱点分野集中講座 問題集。資料の使用 43 弱点分野集中講座 問題集。資料の使用 44 模擬試験 問題集。資料の使用 44 模擬試験 問題集。資料の使用	26 ∮	弱点分野集中記	萬坐		問題集。資料の依	E用		
29 弱点分野集中講座 問題集。資料の使用 30 弱点分野集中講座 問題集。資料の使用 31 弱点分野集中講座 問題集。資料の使用 32 弱点分野集中講座 問題集。資料の使用 34 弱点分野集中講座 問題集。資料の使用 35 弱点分野集中講座 問題集。資料の使用 36 弱点分野集中講座 問題集。資料の使用 37 弱点分野集中講座 問題集。資料の使用 38 弱点分野集中講座 問題集。資料の使用 40 弱点分野集中講座 問題集。資料の使用 40 弱点分野集中講座 問題集。資料の使用 41 弱点分野集中講座 問題集。資料の使用 42 弱点分野集中講座 問題集。資料の使用 43 弱点分野集中講座 問題集。資料の使用 44 模擬試験 問題集。資料の使用 44 模擬試験 問題集。資料の使用	27 🕏	弱点分野集中記			問題集。資料の依	EM .		
29 弱点分野集中講座 問題集。資料の使用 30 弱点分野集中講座 問題集。資料の使用 31 弱点分野集中講座 問題集。資料の使用 32 弱点分野集中講座 問題集。資料の使用 34 弱点分野集中講座 問題集。資料の使用 35 弱点分野集中講座 問題集。資料の使用 36 弱点分野集中講座 問題集。資料の使用 37 弱点分野集中講座 問題集。資料の使用 38 弱点分野集中講座 問題集。資料の使用 40 弱点分野集中講座 問題集。資料の使用 40 弱点分野集中講座 問題集。資料の使用 41 弱点分野集中講座 問題集。資料の使用 42 弱点分野集中講座 問題集。資料の使用 43 弱点分野集中講座 問題集。資料の使用 44 模擬試験 問題集。資料の使用 44 模擬試験 問題集。資料の使用	28 ਵ	弱点分野集中記	構座		問題集。資料の何	b用		
30								
31 弱点分野集中講座	29 身	弱点分野集中記			問題集。資料の信	門		
32 弱点分野集中講座	30 ₿	弱点分野集中記	講座		問題集。資料の依	E用	_	
32 弱点分野集中講座	31 ₹	弱点分野集中記	講座		問題集。資料の何	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		
33 33 33 35 35 35 35 35								
34 弱点分野集中講座 問題集。資料の使用 35 弱点分野集中講座 問題集。資料の使用 36 弱点分野集中講座 問題集。資料の使用 37 弱点分野集中講座 問題集。資料の使用 38 弱点分野集中講座 問題集。資料の使用 40 弱点分野集中講座 問題集。資料の使用 41 弱点分野集中講座 問題集。資料の使用 42 弱点分野集中講座 問題集。資料の使用 43 弱点分野集中講座 問題集。資料の使用 44 模擬試験 問題集。資料の使用 44 模擬試験 問題集。資料の使用	32 §	购点分野集中記	再座		问題薬。資料の仮	P. 用		
35 弱点分野集中講座	33 ∮	弱点分野集中詞	帯座		問題集。資料の依	使用		
35 弱点分野集中講座	34 ∮	弱点分野集中詞	構座		問題集。資料の信			
36 弱点分野集中講座 問題集。資料の使用 37 弱点分野集中講座 問題集。資料の使用 38 弱点分野集中講座 問題集。資料の使用 39 弱点分野集中講座 問題集。資料の使用 40 弱点分野集中講座 問題集。資料の使用 41 弱点分野集中講座 問題集。資料の使用 42 弱点分野集中講座 問題集。資料の使用 43 弱点分野集中講座 問題集。資料の使用 44 模擬試験 問題集。資料の使用								
37 37 37 37 37 37 37 37					回題来。資料の信	cmi		
38 弱点分野集中講座	36 ₿	弱点分野集中詞	構座		問題集。資料の依	使用		
38 弱点分野集中講座	37 ∮	弱点分野集中詞			問題集。資料の侵	使用		
39 弱点分野集中講座 問題集。資料の使用								
40 弱点分野集中講座 問題集。資料の使用 41 弱点分野集中講座 問題集。資料の使用 42 弱点分野集中講座 問題集。資料の使用 43 弱点分野集中講座 問題集。資料の使用 44 模擬試験 問題集。資料の使用	36 §	99 点 ブ 野 栗 甲 記	内圧		回題来。資料の信	cmi		
41 弱点分野集中講座 問題集。資料の使用	39 ₫	弱点分野集中記	講座		問題集。資料の依	E 用		
42 弱点分野集中講座 問題集。資料の使用 43 弱点分野集中講座 問題集。資料の使用 44 模擬試験 問題集。資料の使用	40 🕏	弱点分野集中詞	 帯座		問題集。資料の信	EM .		
42 弱点分野集中講座 問題集。資料の使用 43 弱点分野集中講座 問題集。資料の使用 44 模擬試験 問題集。資料の使用	41 2	弱占分野隹由=			問題集 姿料の4	師		
43 弱点分野集中講座 問題集。資料の使用 44 模擬試験 問題集。資料の使用								
44 模擬試験 問題集。資料の使用	42 §	弱点分野集中記	菁座		問題集。資料の信	E 用		
	43 ∮	弱点分野集中詞	青座		問題集。資料の依	使用		
1	44 ×	準 掛試験			問題集。資料の名	師用		
现伍士注,武结现伍甘淮 尼坡工作	13		五七 十,此德亚历世华		MADAG RITUB		亲	
評価方法・成績評価基準 履修上の注意		部1	叫刀広・			腹惨上の注	思	
成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・ の(60点未満) とする。 最近とに小テストを実施し、理解度を確認する。 弱点克服では、各自の苦手分野を重点的に解答を選め	రశం.							
<u>実務経験教員の経歴</u> 動物病院にて、動物看護師として約5年の実務経験	天扮経影	映教員の経歴	動物病	脱元に、動物を	日護卵として約	3年の天務経験		

科目名			ミュニケーシ	ョン実践Ⅱ		
担当教		担任		務授業の有無	>	
対象学		動物看護師・リハビリ・トリマー学科	対象学年	2	開講時期	通年
	要、目的、進め方	必修 毎日の生活を豊かに有意義に過ご をしっかり理解した上で就職活動 就職活動を意識する。 対面授業で実施。				
学習目 (到達	標目標)	就職活動の心構えと流れを知るこ 自分と職業を理解することができ				
	スト・教材・参 計・その他資料	なし				
回数	Collegen	授業項目、内容		学習	方法・準備学習・	・備考
1	内定先への暑中見	舞い・年賀状の書き方		プリント		
2	内定先への暑中見	舞い・年賀状の書き方		プリント		
3	社会人になってか	らのマナー (日常のマナー)		プリント		
4	社会人になってか	らのマナー (日常のマナー)		プリント		
5	社会人になってか	らのマナー(身だしなみ、敬語)		プリント		
6	社会人になってか	らのマナー(身だしなみ、敬語)		プリント		
7	社会人になってか	らのマナー (備品の名称、使い方)		プリント		
8	社会人になってか	らのマナー (備品の名称、使い方)		プリント		
9	社会人になってか	らのマナー(メール、ビジネス文質	P)	プリント		
10	社会人になってか	らのマナー(メール、ビジネス文編	₽)	プリント		
11	社会人になってか	らのマナー (接待)		プリント		
12	社会人になってか	らのマナー (接待)		プリント		
13	社会人になってか	らのマナー (慶弔業務)		プリント		
14	社会人になってか	らのマナー (慶弔業務)		プリント		
15	社会人になってか	らのマナー(退職)		プリント		
16	前期の振り返り			課題		
17	インターンシップ	の振り返り				
18	インターンシップ	の振り返り				
19	発表就職活動の流れ、	必要書類作成について			提出書類の種類、流	れを知る
20	求人検索の方法、	求人票の見方		履歴書の学歴や村・求人検索サイトを	を知る	
21	合同企業ガイダン	ス・会社訪問の心構え、準備		・合同企業ガイダン	ら項目ごとの意味を知 ノスへの参加に向けた	
22	面接のマナー、面	接の形式		・企業研究をどの。 動画5-2~3	ように行うか知る	
23	面接のマナー、面			動画5-2~3		
24		ンは「きく」から始まる、「話す」	は「全身表現			
25		ンは「きく」から始まる、「話す」				
26		緊張は友達、リズミカルに話す		動画4-3~5		
27		緊張は友達、リズミカルに話す		動画4-3~5		
28		の基礎、筆記試験対策		動画5-4~5		
29		の基礎、筆記試験対策		動画5-4~5		
30	実習日誌の作成					
31	これまでの振り返 実習日誌の作成	<i>y</i>				
32	内定お礼状の書き	方		プリント		
	評	価方法・成績評価基準			履修上の注意	
	ā基準は、S(95点以 以下)とする。	上)・A(80点以上)・B(70点以上)・	 C(60点以上)・		をすることもあるので、 ないようにする。面接縛	

A 科目名	J 2 3 年度							
担当教員		古俣 秀子		務授業の有無 。	55 -# a+ U5	O		
対象学科		動物看護師・リハビリ・トリマー学科	対象学年	2	開講時期	前期		
必修・選	髦択	必修	単位数	1	時間数	32		
授業概要、目的、 授業の進め方 対面授業で実施				技能を身につける				
学習目標 (到達目		Excel表計算処理技能認定試験	3級 取得するこ	とができる				
	ト・教材・参・その他資料	Excel2016 クイックマスター 基本	本編					
回数		授業項目、内容		学習	方法・準備学習	習・備考		
1 1		成・ファイルコピー 基本 Chapter2 データの編集		画面構成、用語の 範囲選択 文字の				
	Chapter2 データの					計関数、相対参照・		
	●問題集 練習問題 Chapter3 表の編集	1【問題2】(1)~(3)		絶対参照、コピー	*			
3		[2【問題2】(1)~(3)		セルの書式設定、表示形式				
4 (Chapter7 関数			基本関数の意味と(数、順位)	吏い方(平均、最大	て、最少、データの個		
5	Chapter8 データベ	ベース機能		並べ替え、フィルク				
	●問題集練習問題1【問題2】(4)~(6)、【問題3】 ●問題集練習問題2【問題2】(4)~(6)、【問題3】			业、自允、丿竹ル				
6	6 Chapter5 グラフと図形の作成 Chapter6 ブックの利用と管理			グラフ作成・編集、	ワークシート名の)変更、シートコピー		
7	Chapter4 ブックの ●問題集 練習問題			ページ設定、グラフ作成・編集の基本、スパークライン				
	●練習問題2~3			解説誘導しながら				
9	●練習問題4~5			答案解答作成 各人のペースで解る 巡回してチェック・				
10	●練習問題6~7			巡回してアエアク	// // // // // // // // // // // // //			
11	●練習問題8~9				//			
12	●練習問題10、模	擬問題2			"			
13	●模擬問題3~4				"			
14	●模擬問題5~6				"			
15	●試験実施プログ	ラム 模擬問題1		前問題振り返り 時間計測して実施、	解答ファイル採点	Ī		
16 h	検定							
	評1	価方法・成績評価基準			履修上の注意	<u></u>		
D(59点以 ⁻	下)とする。	上)・A(80点以上)・B(70点以上)・	パソコンスキルはどの業界へ就職しても必須となります。パソコンの基本的な操作の仕方、表計算やデータを利用した簡単な資料作成の方法をしっかりマスターしましょう。授業中に分からない事や上手く出来なかった事は休み時間を利用して練習をしましょう。					
実務経	験教員の経歴	一般向り	ナパソコン教室	において20年以.	上関わっていた			

2023年度

科目名		トリミング理論					
担当教	員	矢澤 千恵子	実務	8授業の有無		0	
対象学	科	動物看護師・リハビリ・トリマー学科	対象学年	2	開講時期前期		
必修・)	選択	必須	単位数	1	時間数	16	
	各犬種ごとのペットカットのトリミングスタイルを学ぶ。 ペットカットには、決まりがないため、まずはスタンダードを理解する。 対面授業で実施。						
学習目標		各犬種ごとのトリミングスタイル	レを理解し、グルー	・ミング実習にて実	践が出来ようように	こなる。	
	テキスト・教材・参 考図書・その他資料						
回数		授業項目、内容		学習	方法・準備学習	・備考	
1	トリミングの目的	、ペットカットとショークリッフ	プの違い				
2	トリミング方法と	道具について、トリマーの心得					
3	アウトラインカッ	トについて					
4	ポメラニアンの柴	カット					
5	プードルのラムク	リップ、ベアカットについて					
6	マルチーズのペッ	トカット①					
7	接客対応						
8	期末試験						
評価方法・成績評価基準			履修上の注意				
成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。 実務経験教員の経歴 ショップトリマー4年、独立サロン4年							
美務経	経験教員の経歴		ンョッフトリマ	ー4年、独立サ	ロン4年		

科目名			心理学				
担当教	員	倉田 純子	実務	務授業の有無		×	
対象学	科	動物看護師・リハビリ・トリマー学科	対象学年	2	開講時期		
<mark>必修・</mark>	選択	必修	単位数	1	時間数		
授業概授業の	要、目的、 進め方	人間の行動を起こすための仕組の対面授業で実施。	みを理解する。				
学習目標 (到達目標) 人間の心の働きを学び、人間関係を良好に築けるよ				ように心構えができ	きる。		
テキスト・教材・参 なし 考図書・その他資料 なし							
回数		授業項目、内容		学習	方法・準備学	習・(
1	心理学の歩み①			プリント			
2	心理学の歩み②			プリント			
3	心理学の歩み③			プリント			
4	脳の仕組みと働き	、学習と本能		プリント			
5	記憶の仕組み、感	情と欲求		プリント			
6	発達心理学			プリント			
7	集団とのかかわり			プリント			
8	期末試験						
	. 評	価方法・成績評価基準			履修上の注意	意	
	成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・ D(59点以下)とする。				プリントを配布する; ように作成されてい?		
実務紹	E 験教員の経歴						

学校	シ	ラ	バ	ス
	と期 かんしん			
	16			
備考				
々の授業				